

coop

# 兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 **2**



1月6日(土)、兵庫県民会館（神戸市中央区）において、「第13回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。会員生協・団体の役員と職員44人が参加したセミナーでは、協同組合の役割と今後の展望について学びました。また、賀詞交換会では、行政と会員生協のみなさまが交流を深めながら、新年への決意を新たにしました。（関連記事P.3）



日本生活協同組合連合会  
関西地連事務局 事務局長

## 北村 洋

(きたむら・ひろし)

# 日本の生協の 2030年ビジョンを展望して

兵庫県生協連の会員生協・団体皆様には、日頃より日本生協連関西地連の運営および諸活動に積極的なご支援ご協力を賜り、感謝申し上げます。

私事で恐縮ではございますが、昨年の8月21日付で関西地連に着任いたしました北村と申します。関西地連で仕事をさせていただくのは10数年ぶりのことであり、前回は1995年の阪神・淡路大震災の直後に着任して、コープこうべのボランティア本部や各地区本部でお手伝いさせていただいたことが強く印象に残っています。

当時、生協からの社会的発信や組合員活動の分野で中心的な課題として取り組まれていたのは、食品の安全や環境、平和、福祉・たすけ合い活動が中心でしたが、今日では、地域社会全体に目を向けて、行政や他団体ともいっしょに取り組みを進めている地域のささえ合い活動が全国的に広がっています。

2011年、協同組合としての積極的な役割を果たしていくために、全国の生協における議論を経て策定されました「日本の生協の2020年ビジョン」では、組合員の「ふだんのくらしへの役立ち」を実現するための事業革新を「アクションプラン1」として、そして、地域のネットワークを広げて、

地域社会の変化から生まれる新たなニーズに添えていく「地域社会づくりへの参加」を「アクションプラン2」として位置づけていました。今、振り返ってみると、生協の将来のあるべき姿に確信を持って、日々の事業や活動を充実させていくことの大切さを示していたと実感した次第です。

そして現在、全国生協の2030年ビジョン策定に向けた議論が開始されました。全国の生協で広がっているフードバンクや子ども食堂など「地域の居場所づくり」の取り組みは、2030年に向けて地域社会における生協の大きな役割の一つになると思います。組合員のくらしと地域社会、そして日本と世界の中長期的な情勢変化を見据えながら、全国の生協の組合員と役職員の参加により、2030年に向けて全国の生協が目指す基本的な方向性を取りまとめたいきましょう。そして、生協の未来への確信を内外に広げて、次の生協の担い手づくりに寄与することができればと考えています。

関西地連では、引き続き議論と交流の場としての役割を果たして、組合員、そして会員生協の皆様のお役に立ちたいと思います。今後とも、よろしくお願いたします。

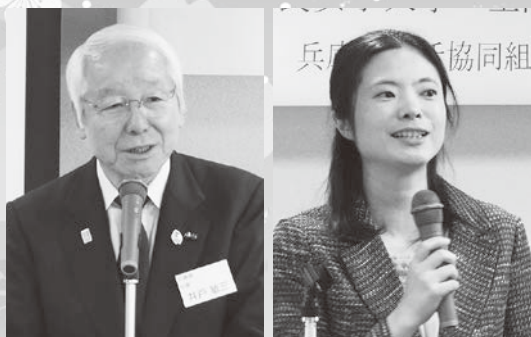
## CONTENTS

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>2. 想点</li> <li>3. 新春トップセミナー・賀詞交換会 報告／<br/>「『兵協連だより』通信員・広報担当者研修会」のご案内</li> <li>4. 単協通信 生活協同組合コープ自然派兵庫／<br/>甲南女子大学生生活協同組合／<br/>生活クラブ生活協同組合都市生活／<br/>ろっこう医療生活協同組合</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>5. 協同組合のかけ橋</li> <li>6. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓</li> <li>7. 「ひょうご消費者セミナー2017」のご案内／<br/>県連日誌／編集後記</li> </ul> |
|--|---|

# 新春トップセミナー・賀詞交換会を開催

1月6日(土)、兵庫県民会館において、13回目の開催となる「新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県から5人の方々をお迎えし、会員生協・団体の役員と職員、共栄火災海上保険株式会社をはじめ、44人の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにする機会となりました。

新春トップセミナーでは、木田 克也 会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県知事 井戸 敏三様からご挨拶をいただきました。その後、奈良女子大学 生活環境学部生活文化学科 専任講師 青木 美紗氏から「協同組合の役割と今後の展望」についてご講演いただきました。「一昨年ユネスコ無形文化遺産登録された協同組合は、市民による生活を追求する組織であり、食糧・環境・エネルギー・つながりなど現代のあらゆる社会問題を解決できる可能性を持っている、役員、職員がその価値や役割を語り、説明できることが大切」と話され、会場の参加者は熱心に聴き入りました。



挨拶される  
兵庫県 井戸 敏三 知事

講演 青木 美紗 氏

その後、開催された賀詞交換会には、兵庫県の消費者行政のご担当の方々にもご参加いただきました。木田 克也 会長理事の挨拶に続き、ご来賓を代表して兵庫県政策創生部長 山口 最丈様のご挨拶と乾杯のご発声で和やかに会がスタート。日頃からお世話になっている行政の皆様と会員生協・団体の皆様、それぞれに賀詞交換を通じて交流を深めました。

## 2017年度『兵協連だより』通信員・広報担当者 研修会

### テーマ：「人を集めるチラシづくりのコツ」

日時：3月9日(金) 13時30分～16時00分

場所：兵庫県民会館 10階「1001」

講師：山阪 佳彦氏

(神戸市企画調整局創造都市推進部クリエイティブディレクター)

イベント企画になかなか人が集まらない、活動の発信方法がわからない、など困っていることはありませんか？チラシのタイトル、キャッチコピーのつけ方、広報の仕方など、人が集まるチラシづくりのコツを学びます。思わず手に取って、参加したくなるチラシを作成し、活動の活性化につなげましょう。

参加対象：会員生協『兵協連だより』通信員および広報担当者



山阪 佳彦氏

お申し込みは  
先着順 20名

お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 (担当：大戸) TEL.078-391-8634



## 生活協同組合コープ自然派兵庫

### 今年も「田んぼの楽校」に

### 取り組みました

神戸市西区で、地域団体（農・都共生ネットこうべ）、生協（コープ自然派兵庫）、生産者（上津橋土地改良区）の3者を中心に「田んぼの楽校」を開催して8年になります。

「田んぼの楽校」では、お米作りを年間を通じて取り組み、農業や化学肥料に頼らない栽培体験や、田んぼや周辺の生き物調査を通じて、農（生産者）と食（消費者）との共生を学んでいます。2017年度も11月18日の収穫祭をもって取り組みが終了しました。種は前年に収穫したものを使い、農薬を使わずお湯で殺菌します。苗作りは、今年初めて「ポット苗」に挑戦。小さなポットに種を数粒ずつ入れて作ります。こ

うすることで根張りが良く、元気な稲に育ちます。施肥や種、苗管理、水管理などは生産者にお願ひしています。が、種まきから田植え、除草（手で抜き取りします）、収穫、脱穀ま



田植え

#### ● 2017年度 田んぼの楽校

- 2月19日 2017年度の方針決定
- 5月9日 温湯消毒（農薬を使用せず、お湯で殺菌します）
- 14日 開校式 種まき、ピオトープ作り・群整備、看板作り、生き物調査
- 6月11日 代掻き、水路調査
- 17日 田植え、生き物調査
- 7月1日、8日、9日 合同草引き、外来亀の防除、生き物調査
- 8月20日 有機農業学習会（講師：神戸大名誉教授／保田茂さん）
- 10月1日 稲木準備（稲を干す「竹」の切り出し作業）
- 21日 稲刈り・天日干し（但し、台風の為中止）
- 11月5日 脱穀
- 18日 収穫祭

（通信員 時枝文麻）

で、全て参加者自身が行っています。2017年度は、親子あわせて150名を超える方が登録し、続けて参加しているベテランから、今年初めての人まで一緒に取り組みました。今年はお米も上々で、収穫祭では、収穫したお米で作ったおにぎりが、お米を潰してつくったおはぎを堪能しました。また、昨年設置した魚道の運用を開始、水路から田んぼの一角に設置したピオトープには、これまで遡上できなかったドジョウが確認された一方、アメリカザリガニ、ライギョ、ウシガエルなどの外来種も確認されました。

## 甲南女子大学生生活協同組合

### 消費者トラブル防止！

### スタンプラリー企画

甲南女子大学生協では、兵庫県事業者団体等による消費者教育支援事業の補助金を受けて、11月13日（月）24日（金）に「消費者トラブル防止！スタンプラリー企画」を実施しました。「ポスター掲示だけでは見てもらえなかつたかがわからない」、「講座形式だと授業との関係もあり、参加者が集まりにくい」という課題もあり、今回のようなスタンプラリー形式を企画しました。

学内の店舗6か所に消費者トラブル事例を〇×クイズにして掲示し、回答を指定の場所に持ってきてもらうと参加賞として「消費者ホットライン188」が入ったボールペンを配布し、消費者トラブル防止を呼びかけました。

甲南女子大学では自宅生が多いですが、初めて親元を離れて自立した生活を送る学生もおり、今までの以上に社会との関連が深まり、活動範囲も広がります。しかし、社会的な経験が乏しいことから様々な消費者被害に巻き込まれる可能性が大きい年

代です。成年と未成年が混在する大学においては、成年になることによつて保護者から守られる環境が大きく変化することを踏まえ、「被害に巻き込まれないため」だけでなく、「被害に遭ってしまった場合の対処法」「消費者被害の事例」などの情報を知る必要があります。今回のスタンプラリーではそうした事例をクイズにすることで、多くの学生の目に触れる機会を作りました。組合員が消費行動における選択を自ら考えられるよう、今後も継続して消費者教育を行っていきます。

（通信員 新田和代）



多くの学生がスタンプラリーに参加しました



## 生活クラブ生活協同組合都市生活

### 広木克行氏講演会「親が変われば、子どもは変わる」

#### 子どものシグナル見えますか

12月14日(木)神戸市勤労会館で講演会を行いました。講師の広木さん(神戸大学名誉教授)は、不登校の子どもと親の相談に長年にわたって関わるとともに、各地で保育・教育の学習会や子育て相談を続けていらっしやいます。当生協では2013年度から毎年講演をしていただいています。が、繰り返し力説されるのは「親の不安、あるいは期待から出発する子育て」ではなく、「子どもの必要から考える子育て」ということです。「子どもの必要」とは、子どもの育ちには順番(発達段階)があることを理解し、その順番に応じた生活や活動を十分に体験することの重要性をいいます。例えば、幼児期は五感と身体を育む時期であり、そのためには、仲間と自然の中で思う存分に遊ぶことが必要だと説かれます。植物に置き換えれば、「根っこ」をしっかり伸ばす時期。その後、目には見えない地中の「根っこ」が、自力で



水分や養分を吸い上げられるようになって、ようやく発芽します。けれども、一日でも早く花を咲かせ実をつけさせたいとの親心から、発達段階を無視した子育て(「根っこ」の大切さを理解しない子育て)は、子どもの健やかな育ちを妨げると強調されます。今回の講演ではさらに続けて、「子どもの成長には家庭・地域・学校の3つの場が必要。しかし、ボール遊び禁止の公園が増えるなど夢中になって遊べる環境が失われつつある今、生協が地域にそのような「場」を作りだしていくことを期待しています」との励ましをいただきました。広木さんの講演会は毎回、育児中の方にとどまらず幅広い年齢層の参加があります。また連続して参加する方も少なくありません。今回も大盛況(定員120名が満席)となった会場を、その穏やかな語り口と親子に向けられた温かい眼差しが、優しく包んでいました。

(通信員 小松高志)

## ろっこう医療生活協同組合

### 「フクシマを忘れない」原発講演会

12月16日(土)きらり健康生活協同組合の前理事長、川添隆司先生をお招きして「フクシマを忘れない!」そして「憲法・沖縄」と題した「原発講演会」を100人近くの組合員職員の参加で開催しました。

現在でも、福島県民の県内外への避難者は8万人を超え、特に福島県の子どもの甲状腺がんが増加、原発事故現場に近いほど、甲状腺がん発生率が高まっているというショッキングな報告もありました。

更に、この点に関して国の責任による調査と対策が必要にも関わらず、すべて福島県にまかせっきりとのこと。「国の政策として始めた原発であるから、国が責任を持って解決すべき」「福島原発事故のことは忘れないで欲しい」「知ること、知らせることが大切」という講師の訴えは、参加者の心に響きました。あらためて、神戸の地において、脱原発の運動を強めなければならぬと決意を新たにしました。

(通信員 古市賢二)



## JF (一財) 兵庫県水産振興基金

### 但州丸の帰港式が行われる ～県立香住高等学校 航海実習～

兵庫県立香住高等学校 海洋科学科オーシャンコース第2学年の生徒18人を乗せた漁業実習船「但州丸」は、マグロ延縄漁業など所定の実習を終え、船籍のある神戸港に帰港しました。

11月24日(金)の帰港式は、神戸港中突堤に停泊中の但州丸の前で行われ、学校、水産業界関係者や生徒の保護者など約60人参加のもと行われました。

来賓として出席したJF 兵庫漁連 田沼 政男会長は「今回の実習は大変貴重な体験となったと思う。これまで学んだ知識や技能、さらに情熱をもって、是非、水産業界を盛り上げて頂くことを期待します」と挨拶をされ、また、兵庫県 JF 共済推進本部 戎本 裕明本部長より実習生代表に記念品が手渡されました。

今年は10月20日(金)に香住港を出港、台風などの影響で寄港先の変更もありましたが、長崎・広島・名古屋・清水港を経て、10回のマグロ延縄漁業実習を行い、横浜・神奈川県三崎港を経由した後、神戸港に帰港しました。

この後、但州丸は27日に神戸港を出港、29日に香住港へ入港し約40日の実習を終えました。



帰港式



但州丸

## JA 兵庫中央会

### 組合員と地域からの支持と信頼を JA 大会決議実践フォーラムを開く

JA 兵庫中央会は12月14日(木)、神戸市内の県農業会館で、兵庫県 JA 大会決議実践フォーラムを開き、県内 JA グループの役職員約70人が参加しました。組合員と地域に支持され信頼される JA グループ兵庫をめざして、第33回兵庫県 JA 大会決議を着実に実践し、自己改革の成果をあげることが目的です。

はじめに、JA 兵庫中央会の浜田充専務理事が、他国との経済連携協定の状況や規制改革推進会議の動向など、農業及びJAをめぐる情勢について説明しました。また、JA 自己改革に関するアンケート調査や全JA 調査の結果をもとに、改革の成果を組合員、とくに担い手農業者に評価される課題があることを報告しました。

事例発表では、静岡県・JA とびあ浜松の森下安則代表理事理事長が「未来の地域農業のために」と題し、営農部と金融部の事業間連携や、農家の意向調査を踏まえた担い手支援訪問活動の強化によって農業所得を高め、JA 販売事業を増大させた取り組みを話しました。

また、有限責任監査法人トーマツ水谷成吾シニアマネージャーが「JA を取り巻く環境とJA の目指すべき姿」と題して講演を行いました。

### 兵庫県JA大会決議実践フォーラム



基調報告をする浜田専務





消費者トラブル事例集

# 若者が被害に遭いやすい 消費者トラブルの啓発リーフレット 「あま〜い誘いにご用心！」 配布中！

新社会人、大学生、高校生といった、若い人が陥りやすい消費者トラブルの手口をわかりやすく紹介した、消費者トラブルの啓発リーフレット「あま〜い誘いにご用心！」を、今年も兵庫、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山の近畿2府4県で共同作成しました。

事例を4つ取り上げ、分かりやすく4コママンガで紹介するとともに、クーリング・オフについて解説しています。

手口を知り、「おかしいな、困ったな」と思った時には、ひとりで悩まず、「消費者ホットライン『188 (いやや)』」に電話して、県や市町の消費生活相談窓口にご相談しましょう。

このリーフレットの配布をご希望の方は、生活科学総合センター（TEL：078-302-4000）までご連絡ください。下記のURLからもリーフレットをご覧になれます。

→ <http://www.seiken.server-shared.com/wakamono30.pdf>



(兵庫県生活科学総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。寒い日が続きますね。町を巡回する灯油販売車が「ゆ〜きやこんこ♪」と童謡を流しています。家の中に居てもその曲は聞こえてきます。すると決まって、近所の犬が「ワオ〜ン♪、ワオ〜ン♪」と曲に合わせて歌うのです。それがとても楽しそうに歌うので、最近はそのような犬の歌を聞くのが楽しみになっています。

さて、前回の続きを。キッチンやトイレなどの水回りトラブルの際、水道工事業者をお願いすることがあります。その際、料金が広告より高額だったり、余計な工事をさせられたなどトラブルになってしまうケースがあります。このような水道工事の契約は、特定商取引法上の訪問販売に当たります。

訪問販売に該当すると、水道工事業者は、クーリング・オフできることなどが明記された契約書を交付しなければなりません。もし業者が、そのような書面を渡していなかったり、クーリング・オフできないような説明をしていた時は、たとえ、クーリング・オフ期間の8日が経過していても、クーリング・オフをする余地が残されていることになります。ですからこのようなトラブルに遭ってしまっても泣き寝入りせずに、相談してみましょう。  
(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット  
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com

# MOVE

防ごう!  
消費者被害

2017年度ひょうご消費者セミナー

参加費 無料

## お寺に学ぶ 助け合いの地域づくり

消費者トラブル防止には、地域の力は欠かせません。今回の消費者セミナーでは、お寺のお供えものを活用し、見守りを兼ねて困っている人に届ける「おてらおやつクラブ」のお話から、孤立を生まない地域づくりを考えます。また、適格消費者団体が何をしているのか!〇×クイズで学びます。



とき 2018年 **3月6日(火)**  
13時30分～15時30分

ところ 兵庫県農業共済会館 7階大会議室  
神戸市中央区下山手通4-15-3



講演会 「おてらおやつクラブの活動の現場から  
～お寺の社会福祉活動の可能性～」

講師



おてらおやつクラブ事務局長  
善福寺 桂 浄薫さん

プロフィール

昭和52年、善福寺に次男として生まれる。  
平成27年から善福寺住職。得意のIT技術を活かし、  
地域・年齢幅広く仏教を伝える。

フード  
ドライブ  
同時開催!

未開封、常温保存の食品  
賞味期限1ヶ月以上

※フードドライブとは、各家庭で余った食品を持ち寄り、それを必要とする人々にフードバンクなどを通じて寄付する活動です。  
当日、お持ちいただいた食品は、フードバンク関西へお渡します。

活動報告 〇×クイズでわかる! 適格消費者団体

参加費

無料

定員

120人(先着順)

締め切り

2月20日(火)

※申し込み受け付けは先着順となります。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

保育

無料(1歳半～未就学児) ※保育をご希望の場合は、直接、申し込み先までご連絡ください。

申し込み方法

会員生協・団体名、お名前、電話番号をご記入の上、兵庫県生協連までFAX・電話・メールでお申込みください。

申し込み先

兵庫県生活協同組合連合会

TEL: 078-391-8634 FAX: 078-392-2059 e-mail: hyogo@kobe.coop.or.jp

主催

兵庫県生協連合会・コープこうべ・ひょうご消費者ネット・消費者支援機構関西(KC's)

後援

兵庫県・神戸市

※個人情報はセミナー以外の目的で使用いたしません。

### 県連日誌

2月5日(月) 兵協連第5回理事会 (県民会館 1201)

2月6日(火) 兵協連第3回大学生協部会 (大学生協部会)

2月7日(水) 兵協連第3回ピースアクション委員会 (県民会館 ばら)

2月14日(水)～15日(木) 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」 (三木市)

2月20日(火)～21日(水) 兵協連第16回税務・経理講習会 (県民会館 1202)

2月26日(月) 兵協連第3回共済生協部会 (県民会館 ばら)

2月28日(水) 兵協連ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会 (県民会館 301)



### 編集後記

1. 17のつどいに参加するため、県民会館から東遊園地へHAT神戸まで歩きました。冷たい雨が降る中、多くの方が参加されていました。東京の当日の新聞に阪神淡路大震災関連の記事はほとんどなく、23年たった今、少し寂しい気持ちになりました。ずっと考えていなくてもいい。だけど、ずっと忘れないでいてほしい。東日本大震災を考えるフォーラム案内で見た言葉、心に留めておきたいと思います。(大戸)